



2020年7月30日

各位

会社名 株式会社ZOZO
 代表者名 代表取締役社長兼CEO 澤田 宏太郎
 (コード番号 3092 東証第一部)
 問合せ先 取締役副社長兼CFO 柳澤 孝旨
 電話番号 043 (213) 5171

2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ

当社は、2020年4月27日に公表の「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想及び配当予想を下記の通り公表いたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	143,000	39,500	39,500	27,600	90円39銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	125,517	27,888	27,644	18,804	61円60銭

(公表の理由)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大が当社業績へ与える影響を適性かつ合理的に算出することが困難なことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測を元に算定した業績予想を公表いたします。

上記の業績予想の算定においては、新型コロナウイルス感染症の再燃による大規模な消費活動の停滞については想定しておりません。今後の動向によっては、実際の業績等は大きく異なる可能性があります。

(ご参考)

[表1] 連結業績予想

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	前期実績比
商品取扱高	345,085 (100.0%)	387,300 (100.0%)	12.2%
売上高	125,517 (36.4%)	143,700 (37.1%)	14.5%
営業利益	27,888 (8.1%)	39,500 (10.2%)	41.6%
経常利益	27,644 (8.0%)	39,500 (10.2%)	42.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	18,804 (5.4%)	27,600 (7.1%)	46.8%

()内は商品取扱高に対する割合です。

[表2] 事業別商品取扱高・売上高会社計画

事業別	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		前期実績比 (%)
	取扱高 (百万円)	構成比 (%)	取扱高 (百万円)	構成比 (%)	
受託ショップ	308,888	89.4	331,000	85.4	7.2
買取ショップ	204	0.1	-	-	-
ZOZUSED	15,753	4.6	14,900	3.8	△5.4
PayPayモール	6,199	1.8	20,000	5.2	222.6
PB事業	1,255	0.4	200	0.1	△84.1
MSP事業	752	0.2	1,200	0.3	59.6
BtoB事業	12,032	3.5	20,000	5.2	66.2
合計	345,085	100.0	387,300	100.0	12.2
事業別	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前期実績比 (%)
広告事業	4,200	2.2	4,200	2.9	54.6
合計	125,517	100.0	143,700	100.0	14.5

2. 2021年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -
今回予想	15 円 00 銭	22 円 00 銭	37 円 00 銭
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	12 円 00 銭	18 円 00 銭	30 円 00 銭

(配当予想の理由)

2021年3月期の連結業績予想の公表に伴い、当連結会計年度の配当金を上記の通り予想いたします。

当社グループの株主の皆様への利益還元につきましては、連結配当性向40%を目安に、業績の推移・財務状況、今後の事業・投資計画等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスを取りながら検討・実施していくことを基本方針としております。2021年3月期の配当につきましては、一株当たり年間37円(中間配当15円)とする予定です。

(注) 本資料記載の予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる可能性があります。

以 上